

『新科目「公共」について～弁護士と考える授業』

シンポジウム開催のご案内

新科目「公共」の具体的な授業についてお悩みの先生方へ。

ご承知の通り、2022年より、高等学校社会科（公民科）の必修科目として、現行の「現代社会」に代わり、新しい教科「公共」が新設されます。新科目では、「何を学ぶか（知識の習得）」より、「どんな課題を解決できるか」すなわち、中学校までに得た知識を使って、正解はない問題に対して、客観的事実による裏付けのある論理を示して他者を説得し、合意に達することができるようになることを目指しているようです。

当会では、これまで法教育や消費者教育、裁判員制度、いじめ予防など、法律家の立場から「社会の在り方を支える基盤として、正義、公正、人権」を伝えようと学校での出張授業に取り組んできました。弁護士による授業では、単なる法知識の伝達に留めることなく、得た知識を使える力を習得することを目指しており、実社会を知る弁護士による授業は有益との教育現場からの評価を頂いております。

また、大阪弁護士会と教員によって構成する「法むる一むネット」の活動や、その他弁護士と教員の協働により、「公共」の目指すような、法に関する知識や法を構成する正義や公正、公平といった基準を元に行動できる力を養う授業案を作成してきました。

今後の「公共」の授業にこれらの活動を活かすべく、それらを紹介するとともに、人権の尊重及び立憲主義の重要性について弁護士と教員が共に考える機会を設けるため、標記シンポジウムを企画いたしましたので、ぜひご参加ください。

ご出席される方は、2月20日（水）までに、裏面の参加申込書に所定事項をご記入のうえ、大阪弁護士会宛にFAX（06-6364-7477）頂くか、大阪弁護士会HP（<http://www.osakaben.or.jp>）の新着・イベント欄よりお申込をお願いします。

記

1. 日 時：平成31年**2月23日**（土）午後1時30分～4時30分
2. 場 所：たかつガーデン B1階「オリーブ」（大阪市天王寺区東高津町7番11号）
※近鉄【大阪上本町駅】から徒歩約3分、地下鉄【谷町九丁目駅】から徒歩約7分
3. 定 員：78名（※申込者多数の場合、立ち見となる場合もございます。）
4. 主 催：大阪弁護士会
5. 共 催：法むる一むネット、大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会、日本弁護士連合会
6. 後 援：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会
7. 内 容：（1）開会挨拶・趣旨説明
日弁連市民のための法教育委員会副委員長 勝井映子 弁護士
（2）基調講演：「新科目『公共』とは」
講師：東洋大学 栗原久 教授

- (3) すぐ使える弁護士と考えた授業案～授業報告及び解説
- ① 民事調停教材について：神戸海星女子学院高等学校 今智也 教諭
飯田亮真 弁護士
 - ② 刑事模擬裁判について：大阪府立三国丘高等学校 大塚雅之 教諭
南昌宏 弁護士
 - ③ ワークルール授業について：藤澤潤 弁護士
 - ④ 日弁連市民のための法教育委員会作成教材について：野坂佳生 弁護士
～10分間休憩～
- (4) パネルディスカッション
- パネリスト：東洋大学 栗原久 教授
神戸海星女子学院高等学校 今智也 教諭
大阪府立三国丘高等学校 大塚雅之 教諭
飯田亮真 弁護士
- コーディネーター：日弁連市民のための法教育委員会委員 蕙井順子 弁護士
- (5) 質疑応答・まとめ
- (6) 閉会挨拶

-----『新科目「公共」について～弁護士と考える授業』シンポジウム参加申込書-----
(送信先FAX：06-6364-7477)

氏名	連絡先
	TEL
	FAX

※ご提供いただいた個人情報は、大阪弁護士会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、参加人数把握のためのみ使用いたします。

■本件に関するお問合せ先
大阪弁護士会委員会部司法課 法教育委員会担当事務局（田中）
TEL：06-6364-1681 FAX：06-6364-7477